Abbott

お客様相談窓口
TEL 0120-37-8055

アボット ジャパン株式会社
千葉県松戸市松飛台278

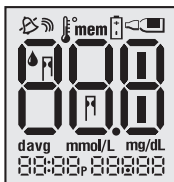
469497/R2 ART23538 Rev. A 04/12

取扱説明書

FreeStyle

自己検査用グルコース測定器

フリースタイルフリーダム™ ライト

各部の名称および特徴

システムチェック画面

測定器に電源が入るたびに、この画面が数秒間表示されます。電源を入れるたびに、画面表示が正しく機能しているか確認してください。**システムチェック画面がここに示した図と一致しない場合は、測定器を使用しないでください**。もし一致しない場合は、測定器は誤った値を示すことがあります。弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

データポート

測定結果をダウンロードします。互換性のあるデータ管理システムが必要です。*詳細については、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。*

表示画面

測定結果およびその他の重要な情報を表示します。

c（設定）ボタン

- コントロール測定結果の記録
- 次の結果を表示
- お知らせアラームの停止
- 日付、時刻、アラーム設定、音量オプションの変更、および保存されている測定結果の再表示

m（モード）ボタン

- 別の設定モードへ切替
- 前の結果を表示
- お知らせアラームの停止

電極挿入口

未使用のFS血糖測定電極 ライトの**挿入部**をここに差し込みます。電極を差し込むと測定器の電源が入ります。

挿入部

FS血糖測定電極 ライト

血液吸入部（電極の黒い半円部分）

電極の印刷面を上にして差し込みます（右図参照）。血液吸入部のどちらか一方にのみ血液またはコントロール溶液を吸入させます。

目次

フリースタイルフリーダム ライトに関する重要情報

用途

測定器は体外診断用の医療機器です。

フリースタイルフリーダム ライト（測定器）は、指先、前腕、上腕、手、もも、ふくらはぎから採取した毛細管全血、および静脈全血中のグルコースを定量測定するために使用します。測定器は、医療機関での測定や、糖尿病患者による在宅での自己測定に使用し、糖尿病管理プログラムの有効性のモニタリングを補助することを目的としています。糖尿病の診断またはスクリーニングの用途で使用しないでください。また、新生児血、動脈血には使用できません。

重要：測定器は、必ずFS血糖測定電極 ライトおよび専用コントロール溶液とともに使用してください。専用の電極およびコントロール溶液以外のものを使用すると、正しい結果が得られません。

警告：

- 低血糖が疑われる場合や、無自覚性低血糖を起こしている場合には、指先で測定してください。
- 血糖測定器には、飲み込むと危険な小さな部品が含まれています。

注意：フリースタイルフリーダム ライト、穿刺器具、穿刺針をご使用になる前に、それぞれの添付文書および、本取扱説明書の記載事項をすべて読み、測定手順を確認してください。血糖値の測定は、医師の指導に従って行ってください。

測定器の設定

目的

本章では、測定器の音量、時刻、日付の設定について説明します。

1. 測定器の電源が切れている状態（電極を差し込んでいない状態）で、SETと表示されるまで ⓜ を**3**秒間 ***押し続けます***。

2. お知らせアラームの設定を行わない場合には、ⓜ を押します。この設定は後で行うことができます（お知らせアラームの設定の章を参照）。

音量の設定

音量設定をオンにすると、以下の場合に音が鳴ります。

- 電極に検体が吸入されたとき
- 画面に測定結果が表示されたとき
- エラーが発生したとき

音が鳴らない設定にすることもできます。

3. 音量を設定します。

音量オプション	各々のマークが表示されるまで（c）を押す	次に
オフ		• 保存するときは（m）を押します。
低		
高		

時刻の設定

時刻の表示形式

注： 測定器は、12時間表示（1:24P）または24時間表示（13:24）で表示できます。12時間表示に設定した場合、午前の時刻には「A」と表示されません。午後の時刻を設定する場合は、午後の時刻に「P」と表示されるまで（c）を押し続けます。

時間

4. 「時間」を設定します。

- 現在の「時間」になるまで（c）を押します。
- 保存するときは（m）を押します。

分

5. 「分」を設定します。

- 現在の「分」になるまで（c）を押します。
- 保存するときは（m）を押します。

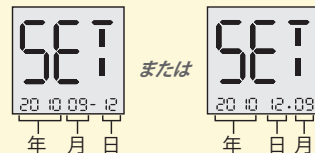
時刻の表示形式

6. 時刻の表示形式を設定します。

- 時刻の表示形式を設定するときは（m）を押します。
- 変更するときは（c）を押します。
- 保存するときは（m）を押します。

ART23538_Rev-A_Guide.indd 3-4 4/16/12 3:44 PM

日付の設定

注：日付の表示形式は以下のいずれかで表示されます。

月

初めに「月」が点滅します。

7. 「月」を設定します。
- 現在の「月」になるまで c を押します。
- 保存するときは m を押します。

日

8. 「日」を設定します。
- 現在の「日」になるまで c を押します。
- 保存するときは m を押します。

日付の表示形式

9. 日付の表示形式を設定します。
- 日付の表示形式を設定するときは m を押します。
- 変更するときは c を押します。
- 保存するときは m を押します。

年

10. 「年」を設定します。
- 「年」を設定するときは m を押します。
- 変更するときは c を押します。
- 保存するときは m を押します。

11. 測定器の電源が切れるまで m ボタンを ***3*** 秒間 ***押し続けます。***
これで測定器の設定が終了しました。

血糖測定

目的

本章では、正しい血糖測定について説明します。

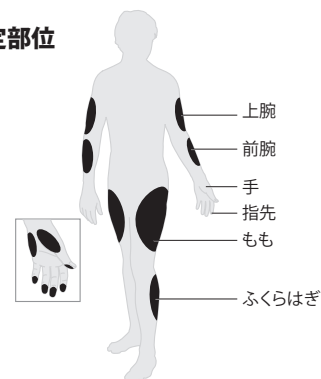
測定の準備

測定の際の注意

1. 指先から採血する場合は、穿刺前に、必ず流水でよく手を洗ってください。

2. 果物等の糖分を含む食品などに触れた後、そのまま指先から採血すると指先に付着した糖分が血液と混じり、血糖値が偽高値となるおそれがあります。［アルコール綿による消毒のみでは糖分の除去が不十分との報告があります。］

3. 以下のような末梢血流が減少した患者の指先から採血した場合は、血糖値が偽低値を示すことがあるため、静脈血等他の部位から採血した血液を用いて測定してください。
–脱水状態　–ショック状態　–末梢循環障害

測定部位

1． 測定部位を選びます。

注： ほくろ、血管、骨、腱は避けてください。測定部位にあざができることがあります。あざができた場合には、別の測定部位での穿刺を検討してください。
指先での測定とその他の部位での測定には、血糖値に違いが生じます。

警告：
低血糖が疑われる場合や、無自覚性低血糖を起こしている場合には、指先で測定してください。

以下のような場合に低血糖であるかどうかを確認する必要があります。

- 脱力、発汗、震え、頭痛、錯乱などの症状があるとき
- インスリン投与後に食事が遅れたとき
- 医師の指示があったとき

重要：

2. 正確な測定結果を得るために、手と測定部位を石けんと温水で洗ってください。

- 手と測定部位をよく乾かしてください。
- 測定部位にローションやクリームを*付けないでください*。

3. 電極の使用期限を確認します。

使用期限を過ぎた電極は*使用しないでください*。正しい結果が得られない場合があります。

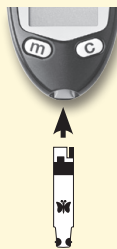
重要：測定には、必ずFS血糖測定電極 ライトを使用してください。他の電極を使用すると、正しい結果が得られません。電極は1回限り使用し、使用後は廃棄してください。

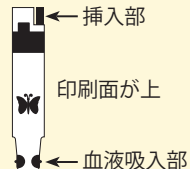
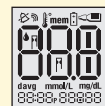
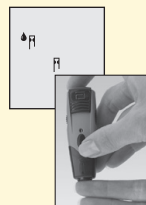
電極に関する重要情報

電極の詳細については、電極の添付文書をご参照ください。

- 電極は測定器の操作温度範囲内（4～40℃）でのみ使用してください。
- 電極は4～30℃の涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 電極は直射日光や熱を避けて保管してください。
- 電極は必ず元の容器に入れて保管してください。
- 電極を容器から取り出す前に、手を清潔にし、よく乾かしてください。
- 電極を容器から取り出した後は、直ちに容器の蓋をしっかり閉めてください。
- 電極は他の容器に*移し替えないでください*。
- 電極は容器から取り出した状態で*保管しないでください*。
- 電極を*曲げたり、切ったり、改造したりしないでください*。
- 電極の両方の血液吸入部に血液を*付けないでください*。
- 測定部位に電極を*押し付けないでください*。
- 電極に血液を*こすり付けないでください*。
- 電極の血液吸入部以外に血液を*付けないでください*。
- 電極が測定器に差し込まれていないときには、電極に血液を*付けないでください*。
- 測定器の中に血液または異物を*入れないでください*。

警告：
電極容器の中の乾燥剤は、吸いこんだり、飲みこんだりすると有害で、目や皮膚に刺激を与える可能性があります。

血糖測定の実施

1. 容器から電極を取り出します。
2. 測定器に電極を差し込み、測定器の電源を入れます。

注：2分以内に測定を開始しないと、測定器の電源が切れます。測定器から電極を抜き、再度、未使用の電極を差し込んで測定器の電源を入れます。

測定器の電源が入らない場合は、トラブルシューティングの章をご参照ください。

3. システムチェック画面を確認します。
   - 測定器に電源が入るたびに、この画面が数秒間表示されます。この画面は、毎回確認してください。**画面が左図の表示と*一致しない*場合は、この測定器を*使用せず*に、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。**
   - 詳細については、各部の名称および特徴の章をご参照ください。

4. 血液を採取します。

（穿刺器具の使用方法については、穿刺器具の添付文書をご参照ください。）

0.3µLの血液で正確な結果を得ることができます。

5. 電極のどちらか一方の血液吸入部に血液を付け、以下の状態になるまで***少し待ちます***。
   - 測定器の画面に破線が時計方向に流れるように点滅する
   - 「ピー」と音がする（音量設定がオンの場合）

これは電極に十分な量の血液が吸入され、測定器が血糖値の測定をしていることを意味します。5秒たっても画面に破線が表示されない場合には、血液量が少なすぎる可能性があります。最初に吸入させてから60秒以内であれば、同じ側の血液吸入部に血液を再度吸入させることができます。血液を吸入させても測定が開始しない場合は、トラブルシューティングの章をご参照ください。

（表示例）

6. 結果が表示されます。音量設定がオンの場合は、「ピーピー」と音がします。

測定結果が画面に表示されたら測定は終了です。結果が表示されるまでの時間は血糖の濃度によって異なります。血糖の濃度が高いほど結果が出るまでに時間がかかります。

注：画面に「**Er1、Er2、Er3またはEr4**」が表示された場合は、エラーメッセージです。エラーメッセージの章をご参照ください。

血糖測定値の判定

測定器の結果の表示は、mg/dLです。測定単位はあらかじめ設定されています。設定単位は変更できません。

糖尿病でない成人、または妊娠していない成人の判定基準

- 空腹時血糖値：110 mg/dL未満[1]
- 75 g糖負荷試験2時間値：140 mg/dL未満[1]
- ご自身の適切な血糖値範囲については、医師にご相談ください。

重要：測定器の測定範囲は、20～500 mg/dLです。低値または高値の血糖測定値は、深刻な病状を示している可能性があります。

参考文献：

[1] 日本糖尿病学会編　糖尿病治療ガイド 2010, 18-19

低値または高値の血糖測定値

結果	状　況	対処法
60 mg/dL未満	低値（低血糖）	低血糖の症状が*ない*場合でも、新しい電極で再度測定を行ってください。 再測定後もまだ測定結果が自覚症状と一致しない場合、または、60 mg/dL未満の場合には、医師の指示に従ってください。
240 mg/dLを超える	高値（高血糖）	高血糖の症状が*ない*場合でも、新しい電極で再度測定を行ってください。 再測定後もまだ測定結果が自覚症状と一致しない場合、または、240 mg/dLを超える場合には、医師の指示に従ってください。

表示画面	状　況	症状	対処法
LO 測定結果が 20 mg/dL未満の場合に 表示される	重篤な低血糖	脱力 発汗 震え 頭痛 錯乱	医師の指示に従って低血糖の治療をしてください。 測定値が自覚症状と一致しない場合は、コントロール測定を行って測定器と電極が正しく機能していることを確認してください。測定結果が電極容器に印字されている期待値範囲内にあるときは、新しい電極と血液を使って再度測定を行ってください。

重要：

- 重度の脱水は、実際の血糖値よりも低い値が示されることがあります。重度の脱水症にかかっていると思われる場合には、直ちに医師に相談してください。
- 本書に記載されている指示に従っている場合で、測定結果が自覚症状と一致しないときには、医師に連絡してください。

表示画面	状　況	症状	対処法
HI 測定結果が 500 mg/dLを超える場合 に表示される	重篤な高血糖	疲労 口渇 多尿 視界不良	医師の指示に従って高血糖の治療をしてください。 測定値が自覚症状と一致しない場合は、コントロール測定を行って測定器と電極が正しく機能していることを確認してください。測定結果が電極容器に印字されている期待値範囲内にあるときは、新しい電極と血液を使って再度測定を行ってください。

エラーメッセージ

メッセージ	状　況	対処法
Er 1	● 検体量が少なすぎる ● 電極に問題がある ● 測定器に問題がある ● 血糖値が20 mg/dL未満	1. 以下のような症状があるときは、医師の指示に従って低血糖の治療をしてください。 ● 脱力　●震え ● 発汗　●頭痛 ● 錯乱 2. 新しい電極を使ってコントロール測定を行ってください。測定結果が電極容器に印字されている期待値範囲内にあるときは、新しい電極と血液を使って再度測定を行ってください。 3. コントロール測定の結果が範囲外であるか、エラーが再表示された場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

メッセージ	状　況	対処法
Er2	● 電極に問題がある ● 測定器に問題がある ● 血糖値が500 mg/dLを超える	1. 以下のような症状があるときは、医師の指示に従って高血糖の治療をしてください。 ● 疲労　●口渇 ● 多尿　●視界不良 2. 新しい電極を使ってコントロール測定を行ってください。測定結果が電極容器に印字されている期待値範囲内にあるときは、新しい電極と血液を使って再度測定を行ってください。 3. コントロール測定の結果が範囲外であるか、エラーが再表示された場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

メッセージ	状　況	対処法
Er3	● 測定器に電極を差し込む前に電極に血液を付けた、 または、画面に と が表示される前に血液を付けたなどの誤った測定手順。 ● 電極に問題がある ● 測定器に問題がある	1. 画面に と が表示されてから、血液またはコントロール溶液を吸入させてください。 2. 新しい電極でコントロール測定を行ってください。測定結果が電極容器に印字されている期待値範囲内にあるときは、新しい電極と血液を使って再度測定を行ってください。 3. コントロール測定の結果が範囲外であるか、エラーが再表示された場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
Er4	● 電極に問題がある ● 測定器に問題がある	1. 新しい電極でコントロール測定を行ってください。測定結果が電極容器に印字されている期待値範囲内にあるときは、新しい電極と血液を使って再度測定を行ってください。 2. コントロール測定の結果が範囲外であるか、エラーが再表示された場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

トラブルシューティング

	状　況	対処法
1. 電極を差し込んでも測定器が測定モードにならない。	● 電極の面が上下逆向きか、または間違った方の端が測定器に差し込まれている、もしくは電極が測定器に完全に差し込まれていない	1. 電極の印刷面を上にして挿入部を測定器に差し込みます。 電極が完全に差し込まれていることを確認します。
	● 測定器に電池が入っていない ● 電池が正しくセットされていない	1. プラス（+）の面を上にして電池をセットします。
	● 電池が切れている	1. 電池を交換します。必要に応じて日付と時刻を再設定してください。 2. それでも測定器が測定モードにならない場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
	● 測定器または電極に問題がある ● 電極挿入口に血液または異物が入っている	1. 弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

	状　況	対処法
2. 血液を吸入させた後、測定が開始されない。	● 血液量が少なすぎる	1. 最初に吸入させてから60秒以内に同じ側の血液吸入部に再度血液を吸入させるか、新しい電極で血液を多めに吸入させて再度測定を行ってください。
	● 電極に問題がある ● 自動的に電源が切れた後に検体を吸入させた	1. 新しい電極で再度測定を行ってください。画面に と が表示されるまで待ってから、血液またはコントロール溶液を吸入させます。 2. 再測定後もエラーが続く場合は、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
	● 測定器に問題がある	1. 弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

コントロール溶液

目的

専用コントロール溶液は、赤い液体で、一定量のグルコースを含んでいます。

コントロール測定は以下の目的で行います。

- 血液を*使わずに*測定の練習をするとき
- 測定器と電極がともに正常に機能していることを確認するとき
- 血糖測定結果に疑問があるとき

コントロール溶液の入手方法については、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

コントロール溶液に関する情報

- 測定器には専用コントロール溶液のみをご使用ください。
- 使用後は直ちにコントロール溶液の蓋を閉めてください。
- コントロール測定結果は、コントロール溶液が15～40℃である状態で測定された場合にのみ、正確に得られます。
- コントロール溶液に水やその他の液体を*加えないでください*。
- 使用可能なコントロール溶液の濃度は1種類（中濃度）です。
  コントロール溶液の入手方法の詳細については、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

重要：コントロール測定の結果は、電極容器に印字されている期待値範囲内である必要があります。血糖測定を行うときは、この範囲を使用しないでください。

コントロール測定の結果が期待値範囲を外れる場合

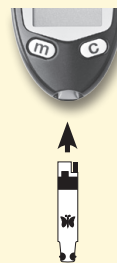
- コントロール測定の結果が電極容器に印字されている期待値範囲外の場合には、再度測定を行ってください。
- コントロール測定の結果が連続して電極容器に印字されている期待値範囲外の場合には、測定器の使用を止め、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

測定結果が期待値範囲を外れる原因には、以下のことが考えられます。

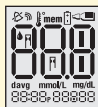
- コントロール溶液の使用期限切れ、または、コントロール溶液に問題がある
- 電極の使用期限切れ、または、電極に問題がある
- 測定エラー
- 水で薄めたコントロール溶液を使用した
- 測定器に問題がある
- 電極が劣化している
- コントロール測定が15〜40℃の範囲外の温度で行われた

コントロール測定の実施

1. コントロール溶液の使用期限を確認します。

重要：使用期限を過ぎたコントロール溶液は*使用しないでください。*新しいコントロール溶液の容器を開封した日から3ヶ月後、または容器に印字されている使用期限のいずれか早い日付が廃棄日です。（例：4月15日に開封した場合の廃棄日は7月15日。この廃棄日をコントロール溶液の容器側面に記入してください。）

2. 容器から電極を取り出します。
3. 電極を挿入して測定器の電源を入れます。

注：2分以内に測定を開始しないと、測定器の電源が切れます。測定器から電極を抜き、再度未使用の電極を差し込んで測定器の電源を入れます。

測定器の電源が入らない場合は、トラブルシューティングの章をご参照ください。

4. システムチェック画面を確認します。

- 測定器に電源が入るたびに、この画面が数秒間表示されます。この画面は、毎回確認してください。**画面が左図の表示と一致しない場合は、この測定器を*使用せず*に、弊社お客様相談窓口にご連絡ください。**
- 詳細については、各部の名称および特徴の章をご参照ください。

5. 電極のどちらか一方の血液吸入部にコントロール溶液を付け、以下の状態になるまで***少し待ちます***。

- 測定器の画面に破線が時計方向に流れるように点滅する
- 「ピー」と音がする（音量設定がオンの場合）

これは電極に十分な量のコントロール溶液が吸入され、測定器がコントロール溶液の測定をしていることを意味します。コントロール溶液を吸入させても測定が開始しない場合は、トラブルシューティングの章をご参照ください。

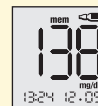
重要：5秒たっても画面に破線が*表示されない*場合には、コントロール溶液の量が少なすぎる可能性があります。両方の血液吸入部にコントロール溶液を*吸入させないでください*。電極は1回限りの使用とし、*再使用しないでください*。使用した電極は廃棄してください。

（表示例）

6. 結果が表示されます。音量設定がオンの場合は「ピーピー」と音がします。

測定結果が画面に表示されたら測定は終了です。

7. コントロール測定の結果を電極容器に印字されている期待値範囲と比較します。コントロール測定の結果が、範囲内にあることを確認してください。

注：画面に「**Er1、Er2、Er3またはEr4**」が表示された場合はエラーメッセージです。エラーメッセージの章をご参照ください。

8. 結果をコントロール測定の結果として記録するために、画面にが表示されるまで、Ⓒを***2***秒間 ***押し続けます***。再度Ⓒを***2***秒間 ***押し続けて*** マークを外すことができます。マークの付いた値は、コントロール測定の結果であることを示しています。

9. 電極を抜き取って測定器の電源を切ります。

測定器のメモリーの使用方法

目的

本章では、保存された測定結果や、7日間、14日間および30日間の平均値表示について説明します。

保存されている平均血糖測定値の表示方法

測定器の電源が切れている状態（電極を差し込んでいない状態）で始めます。(m)を押すと、7日間の平均値が表示されます。（コントロール溶液、LOおよびHIの測定値は平均値に*含まれません。*）

注：(m)を押し続けるといつでも測定結果の表示を終了します。

例：

保存されている結果の表示画面
平均値
n = 平均値に含まれている測定結果の数

- (c)を押すごとに14日間および30日間の平均値、および保存されているすべての測定結果が表示されます。最新の測定結果が最初に表示されます。
- (m)を押すごとに測定結果が日付の古い順に表示されます。

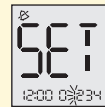
保存されている測定結果の表示

測定器には過去400回分の測定結果が日付と時刻とともに保存されています。(c)を押すと、測定結果を見ることができます。最新の測定結果が最初に表示されます。

表示	説明
mem	保存されている測定結果を表示していることを示します。
davg	最近の7日間、14日間、30日間からの血糖測定値の平均値を示します。
	温度が極端に高いまたは低いところで測定を行ったため、測定結果が*正確でない*可能性があることを示します。この結果は7日間、14日間、30日間の平均値に含まれます。測定器が適切な温度範囲内にある状態で再度測定を行ってください。
LO	20 mg/dL未満の測定結果はLOとして保存されます。
HI	500 mg/dLを超える測定結果はHIとして保存されます。
mem	コントロール測定の結果であることを示します。

お知らせアラームの設定（オプション）

目的

本章では、一日の測定時刻を知らせるためのお知らせアラーム4種類の設定方法について説明します。

お知らせアラーム

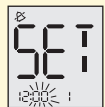
1. 測定器の電源が切れている状態（電極を差し込んでいない状態）で、画面にSETが表示され*0*が点滅するまで、*3*秒間（m）を***押し続けます。***

2. （c）を押すと、お知らせアラーム*1*が点滅します。

時間

注：時刻ではなくお知らせアラームの「時間」を設定しています。

3. 「時間」を設定します。

- 時間を設定するときは（m）を押します。
- 設定したい「時間」になるまで（c）を押します。
- 保存するときは（m）を押します。

分

4. 「分」を設定します。

- 設定したい「分」になるまで（c）を押します。
- 保存するときは（m）を押します。

5. アラームの音量を設定します。

音量オプション	各々のマークが表示されるまで（c）を押す	次に
オフ	🔕	● 保存するときは（m）を押します。
低	🔔	
高	🔔)))	

6. 次のお知らせアラームを設定するには、（c）を押し、2、3、4、5の手順を繰り返します。お知らせアラームは4種類設定することができます。

7. 測定器の電源が切れるまで（m）ボタンを**3**秒間***押し続けます。***

測定結果のコンピュータへの転送

PC	データポートにデータケーブルを差し込むと表示されます。コンピュータに測定結果を転送するには、互換性のあるデータ管理システム（医療機関用）が必要です。測定を始めるときは、このケーブルを抜いてください。

データ管理システムの詳細については、弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。

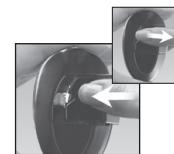
測定器のメンテナンス

電池の交換

測定器には、CR2032リチウム電池（3V）が1個セットされています。この電池により、約1,000回の測定を行うことができます。

- ▯が画面表示されると、電池量が少なくなっています。
- ▯が表示されると、電源が入らなくなります。

重要： ▯が表示されたら、直ちに電池を交換してください。

- 新しい電池をセットする準備ができたら、時刻と日付の設定が消去されるのを避けるため、古い電池を外してから60秒以内に新しい電池に交換してください。
- 時刻と日付の設定が消去されると再設定されるまで、時刻が 12:00 、そして日付が 00-00 で点滅表示します。正しい7日間、14日間、30日間の平均値を表示するために、時刻と日付を再設定してください。万一、時刻と日付の設定が消去されても、正確な血糖測定を行うことはできます。
- 電池を取り外しても、保存された測定結果や設定（たとえば日付と時刻の表示形式）には影響ありません。

1. 電池カバーを右にスライドさせて開きます。
2. プラスチックのつまみを引いて電池を取り出します。

3. プラス（＋）の面を上にして新しい電池をセットします。

4. カチッとはまるまで電池カバーをスライドさせて閉めます。

***注：** 欧州の電池指令において、リサイクルの促進と環境への配慮から、使用済みの電池は分別が必要です。製品中の電池は取り外し、使用済み電池の分別収集のための地域の規則に従って廃棄してください。*

測定器のクリーニング

測定器の電極挿入口およびデータポートには、汚れ、ほこり、血液、コントロール溶液、液体を付けないでください。

測定器の外側は、以下のいずれかで湿らせた布を用いて拭いてください。

- 刺激の弱い中性洗剤・刺激の弱い石けんと水
- 70%アルコール
- 10倍に薄めた家庭用漂白剤

感染を防ぐため、複数の患者で同一の測定器を使用する場合には、10倍に薄めた漂白剤で測定器を掃除してください。

重要：
測定器を水またはその他の液体に浸さないでください。

仕様

項目	内容
測定法	クーロメトリー法を採用した酵素電極法
自動電源オフ	操作停止から2分後
電池の寿命	約1,000回測定
キャリブレーション	血漿グルコース値に換算
ヘマトクリット値	15 %～65 %
測定単位	mg/dL
測定器の保管温度	-20～60℃
メモリー	400回分の血糖測定およびコントロール測定の測定結果 （日付と時刻を含む）

操作時の相対湿度範囲	5～90%(結露のない状態)
操作温度範囲	4～40℃
電源	CR2032リチウム電池(3V)1個、交換式
測定の範囲	20～500 mg/dL
検体	新鮮な毛細管全血または静脈全血
検体量	0.3 μL
寸法	幅5.1cm × 高さ8.4cm × 厚さ1.6cm
重量	39.7～45.4 g(電池を含む)

記号の定義

測定器に関連する記号を以下に示します。地域によって規制条件が異なるため、以下に示す記号の中には、お手持ちの製品に表示されないものがあります。

	添付文書を参照		使用期限
	温度制限	IVD	体外診断用の医療機器
	製造業者	REF	製品番号
CE	CEマーク		リサイクル
EC REP	域内認定代理人	SN	シリアル番号
LOT	ロット番号		再使用禁止

注：欧州の電池指令において、リサイクルの促進と環境への配慮から、使用済みの電池は分別が必要です。製品中の電池は取り外し、使用済み電池の分別収集のための地域の規則に従って廃棄してください。